



議会だより

でいすかす

96号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2019.5.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ホームページで、議会の活動や各種情報をご覧くださいませ

委員会だより



▲市民自治推進委員会との意見交換会の様子

見がありま
した。本委
員会ではこ
れらの意見
交換の内容を
反映した、
政策提言を
提出しまし
た。(二瓶)

また、新しい図書館像として、図書と触れ合う環境づくりや居場所・コミュニケーションの場として、まちライブラリーは有効であるとの意見がありました。

特に、図書館司書の役割は重要であり、人を育てる上で図書館を支える取り組みを要望されました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

また、市民自治推進委員会育み部会と「登別市立図書館の目指すものについて」をテーマに、意見交換を行いました。

新たな視点の
公共施設のあり方は
総務・教育委員会



▲議会サポーターとの意見交換会の様子

本委員会とし
ても、いただ
いた意見を受け
止め、政策提言の
内容に反映し、
市へ提出しまし
た。(村井)

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

また、高齢者による運転免許の自主返納が進む中、買い物や通院など日常生活で不便を感じる交通弱者が増加しているため、交通手段の確保が重要であるとの指摘がありました。

議会サポーターとの
意見交換会
生活・福祉委員会



▲議会サポーターとの意見交換会の様子

詳細は市
議会ホーム
ページに掲
載されてお
りますので
ぜひ一読く
ださい。
(若木)

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

また、議会サポーターとの意見交換会を開催し、サポーターからは、全市観光を進めるために写真コンテスト実施の提案がありました。

観光振興条例の
検討を求める
観光・経済委員会

市民に身近な議会を
目指して
議会運営委員会

本委員会では、市民に身近な議会を目指して議論を重ねてきました。

委員会活動の充実強化では、行政で部署をまたがる事業も多いことから、委員会でも横断的な議論が行えるように取り組みました。

市民が議場に足を運びやすい環境づくりとしては、傍聴規則の改正や、車いすでの傍聴を可能にしました。

議会人事の公表のあり方では、法令に従い、可能な限り市民にわかりやすい人事の公表に努めます。

議会フォーラムは、参加しやすい曜日を選定することで、多くの市民の意見を各委員会へ反映できました。これからも市議会は議会基本条例を順守すべく、議会、委員会、議員としてチェックシートを活用して、絶えず評価し、その結果を議会全体で話し合



▲議場内に設置している車いすの方用の傍聴席とスロープの様子

い、市議会の資質の向上に努めて参ります。
(工藤)

一般質問 議員14名が 市政を問う

平成31年第1回定例会



将来を想定した

行政運営は

杉尾直樹



質 災害の予測や発生時の広報・避難経路・避難所の体制の現状と今後は。

答 室蘭地方気象台などの防災関係機関から気象・河川・土砂災害などの情報収集を行い事前把握に努めている。

広報体制は登録制メール・防災行政無線・ラジオ・テレビ・広報車・市公式フェイスブック・連合町内会の連絡網など複数の伝達体制を整えているが、

災害に強い

まちづくり対策を

米田登美子



質 災害時、長期の共同生活が困難な障がい者や高齢者などを対象に開設する2

次避難所となる福祉避難所が、市内では総合福祉センターしんた21のみであるが、適正と判断しているのか。

また、今後の福祉避難所の拡充についてはどのように考えるのか。

市民からの聞き取りや報道によると、自宅での医療行為を必要とする方など

今後さらさら改善の検討を進める。また、避難経路も各地域の方と協議を重ねながら、適切に定めていく。避難所の運営は、担当職員を増員や女性職員の配置を行うなど、多様なニーズに対応できるよう改善を進める。

長期化が見込まれる場合は、保健師の訪問や衛生管理など環境の向上を図っていく。食料の備蓄なども過去の経験を踏まえ、品目の追加やアレルギーに配慮した食品を購入している。ほかにも市民の健康づくり、子育て

環境、各地域の活性化施策、水産・農業・地場加工品の活用などの質問を行い、今後の人口減少などを踏まえた行政運営を提言しました。

への停電時の対応に不安を感じるこの声があるので、防災や被災時の取り組みに検討課題があるのではないかと。

答 福祉避難所の指定は、段階的に進めていく必要があるが、マンパワーや施設のことを考えると、民間の福祉施設との連携も視野に入りたい。

今後の取り組みについては、長期にわたる避難所生活を含めた避難所マニュアルの策定のほか、災害の種類や期間などを考慮して、携帯電話の充電コーナーの設置など対策を講じていく。

在宅で医療行為を必要とする方への対応は、専門機関の想定を超える問題が生じた場合、支援を行いたいと考えている。

そのほかの質問：市役所職員の雇用と労働環境について

外国人住民との共生を まちの活力に

辻 弘之



新たな在留資格の
設立などを受けて、
外国人住民との共生
政策のあり方につい
て議論しました。

外国人住民の方は、直近約6年の比
較で、92人から217人の2・4倍に増加
温泉地区は15人から65人に、登別地区
は3人から11人に、幌別地区は30人か
ら60人に、鷺別地区は44人から81人に
増加しています。

まずは、外国人住民の方が社会で孤

スキー場の経営戦略は

天神林 美彦



【質】 市政執行方針に
おけるカルルス温泉
サンライバスキー場
を安定的に経営する
ための、「経営戦略

の策定」において、カルルス温泉の存
在をどのように捉えているのか。

【答】 スキー・スノーボード人口の減少
により、リフト収入は減少している状
況にあるが、東アジア・東南アジアを
中心とした外国人旅行者による体験が
増加傾向にあることから、カルルス温

立することのないよう、必要なサポ

ートを提案しました。外国人住民向けに

ごみ出しルールの説明や、地域生活上

の注意点、緊急時や困った際の連絡先

を記した多言語案内を転居受付窓口

において、配布できるよう検討を進める

ことになりました。また、学齢期の子

どもがいる場合は、通学希望の意思確

認と教育委員会との連携も図られます。

災害時においては、全市的に外国人向

け避難所会話セットの設置や、多言語

音声翻訳アプリの活用訓練を実施する

予定です。

外国人住民が持つ文化的多様性は脅

威ではなく、好機と捉え、まちの活力

につなげていくことを提案しました。

泉への滞在を中心に雪遊びの場として

利用するなど、連携して取り組むこと

で、双方の来訪促進が期待されると考

えている。

【質】 経営戦略の策定に際して、現状の

利用状況や利用者の傾向などを踏まえ

たとき、戦略の基本は何か。

【答】 近年のインバウンドによるレンタ

ルやスキースクールが好調に推移して

おり、さらに集客を進めるためにも、

まずは「安全・安心」に集めるス

キー場であることが第一であることか

ら、リフトやゲレンデをはじめ、ス

キー場施設の計画的な改修、修繕が戦

略の基本になると考えている。

科学的分析による 地域経済振興を

松山 哲男



地域活性化に係る
市内経済振興の基本
的な考えでは、地域
活性化に取り組み上
での経済振興の基本

的な考えを質問しました。登別市中小
企業地域経済振興ビジョンに係る取り
組みでは、産業連関表や地域経済分析
システムなどを活用したデータ収集と、
科学的分析による解決に向けた取り組
み方の提起と質問をしました。

また、「地域経済循環図」や、地域

登別市の将来の まちの姿は

井野 正臣



市政執行方針にお
いて、本市の人口が
2045年に3万1
千70人まで減少し、
高齢化率が約48%と

なる推計が示されました。人口減少社
会を迎えるにあたり、第三期基本計画
における「調和のとれた中でふるさと
を演出するまち」で掲げている基本的
な考えを質問しました。

【質】 本市の目指すべきコンパクトシ
ティの具体的な方向性は。

に入ったお金をどれだけ地域内に循環
させるかの「漏れバケツ」モデルを例
示し、外貨稼ぎと域内循環の考えを提
起しながら質問しました。

今後の登別観光に係る取り組みでは、
登別版DMO構築への進捗状況と、関
係団体との連携などをただすとともに、
「登別版DMO構築に向けた報告書」
の有効活用と、構築への戦略・戦術の
検証を提起しました。また、地方の重
要な戦略産業といわれる観光産業に目
を向け、登別観光の概念を明示し、外
貨稼ぎと域内循環の仕組みを設けた全
市的な観光振興を、登別の経済振興の
柱にするべきと質問しました。

【答】 本市は地形上、生活圏が形成され
ている鷺別・幌別・登別地区と、観光
地である登別温泉地区を含めた4地区
で構成されている。地区間が公共交通
により有機的に結ばれているが、さら
なる地区ごとの集約や地区再編の必要
性などについて都市計画マスタープラ
ンを見直し、市民会議においてコンパ
クトシティの必要性を市民と検討して
いく。

【質】 地区再編の必要性の協議とは。

【答】 例えば、鷺別地区を鷺別・美園地
区、若草・新生地区、富岸・若山地区
などに細分化する必要性はないかなど
を、市民会議の中で併せて議論が必要
とされている。

認知症の対策と 蘭法華トンネル通行止め

工藤 俱二雄



質 認知症と診断された一人暮らし高齢者のサポート体制は。

答 地域包括支援センターが中心となり、

認知症高齢者本人や家族、近隣住民や民生委員など、地域の支援者を含めた介護・福祉・保健・医療の関係者で構成する個別ケア会議を開催している。

その生活状況に合わせ見守りや支援方法などの検討、調整を行い連携サポート体制づくりに取り組んでいる。

持続可能な開発目標「SDGs」とは

木村 俊子



質 先進自治体などの「SDGs」の取り組みは。

答 持続可能な開発目標「SDGs」は、

国連サミットにおいて「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標として定められた。

国においても中長期を見通す地方創生の目標と共通するため、「持続可能

質 富浦町に通じる道路の現状は。

答 蘭法華トンネルの老朽化の現状・抜本的対策にあたり、今後さらなる詳細調査や実施設計が必要であり、通行止めが長期間にわたることが見込まれる。

富浦地区の住民が登別地区への通勤・通学などに利用しており、生活上欠かすことのできない重要な路線であると認識している。今後も関係機関との連携強化を図るとともに、富浦地区の住民と情報共有に努め、安全性の確保を最優先した上で、早期の対策工事実施に向けて引き続き北海道に対して強く要望していく。また路線バスの早期再開を関係団体などと協議していく。

な開発目標実施指針」を定め、推進している。北海道は「SDGs 未来都市」に選定され、「SDGs 推進ビジョン」を策定。ニセコ町、下川町は「自治体SDGsモデル事業」にも選定されている。

質 市内企業・団体への「SDGs」の周知はどのように行うのか。

答 「SDGs」の理念が認知され、さまざまな取り組みが展開されること、が肝要であると認識しているが、道民意識調査では約7割の方が知らなかったと回答しており、「SDGs」に対する理解が少ないうえと認識していることから、広報などを通じて周知に努めていきたい。

そのほかの質問：市政執行方針について

そのほかの質問：住みたい、住み続けたいまちづくりへ

子どもの睡眠リズム 安定化を

戸井 肇



昨年2月に視察で伺った福井県美浜町では、不登校に対する対策として児童生徒の睡眠習慣の改善に取り組んだところが、大きく改善しています。

また、不規則な睡眠が、発達障がいや認知症の要因になるという研究者もいることから、睡眠教育（眠育）の取り組みについて質問しました。

質 乳児の睡眠リズムを安定させるための取り組みは。

多子世帯に学校給食費の補助をすべき

佐々木 久美子



平成21年に改正された学校給食法は「学校給食が児童・生徒の心身の健全な発達に資するもの」とを目的とする。この

質 学校給食の役割は。

答 栄養バランスのある給食を提供すること、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達を促す。それ自体が重要な食育教材となっている。

めには、保護者が子どもとともに寝起きする習慣をつけることが重要と考え、乳幼児検診などのときにアドバイスすることは可能か。

答 保護者に提供するリーフレットに記載できるか検討していきたい。

質 睡眠チェックシート（睡眠時間をグラフ状に記載するもの）を2週間記録すると、夜更かし・寝だめ・入眠時間などに2時間以上のばらつきがあるなど、問題のある睡眠傾向が分かることから、チェックシートを導入した指導をするべきと考えるがいかがか。

答 リズム正しい生活は重要と考えている。チェックシートについては今後、精査・研究していく。

質 給食を提供している食材で、北海道産食材の使用割合についてはどのようになっているか。

答 道内産食材の使用割合は36パーセントとなっている。生野菜は冬期間に道外産を使用している。

質 給食費については約3割の自治体が何らかの助成を行っている。

答 多子世帯に何らかの補助をすべきではないか。

答 学校給食法では、食材に係る経費である給食費は、学校給食を受ける児童生徒の保護者の負担となっており、基本的に保護者が負担するべきものと考えている。

そのほかの質問：キャリア教育について

市防災体制への 市民の声アンケートを 渡辺 勉



日本共産党市議団
が行った市民要求ア
ンケートをもとに、
胆振東部地震などで
の市の防災体制につ
いて、市民からの生の声を紹介し質問
しました。

アンケートでは、「避難所・場所につ
いて、津波や地震などに不適切であ
る」「河川や線路を横断しなければな
らず危険」「一人では逃げられず、覚
悟した」「避難所で赤ちゃんが泣きた

防災に対する

市政執行方針は

村井 寿行



災害種別ごとの
最善な避難場所・方
法は。

津波災害につい
ては避難計画を策定
して避難計画を策定
済みである。崖崩れ、土石流、地滑り
などの土砂災害については、気象庁に
よる大雨警報や土砂災害警戒定メッ
シユ情報など、事前避難のタイミン
グを判断する上で重要な情報が身近に発
信されている。

土砂災害のハザードマップ作成は、

し、肩身が狭かった。部屋を別に
してほしい」「ペットを同伴できる避難所
を地域別に」「停電時に対応するソー
ラー型信号機にすべき」「地域のガソ
リンスタンドに協力を要請すべき」

「情報が入らなかつた」「広報車を停
車して。スピードを遅くして」など、
多くの要望や提案がありました。

市民アンケートは一人ひとりの生
の声を聞くことができる。災害検証に
市民アンケートの実施をしてはどうか。

各種団体との議論や市職員を対象
に、市職員から見た災害対応に対する
課題の検証を行っていることから、市
民アンケートを実施する予定はない。

対象となる地域において、土砂災
害に関する理解を深めていく必要があ
り、登別地区の町内会長などに対し、
防災研修会や図上訓練などの開催を打
診したいと考えている。地域それぞれ
の事情も考慮し、個別に協議を行い、
平成31年度末までにマップの作成と配
布を行いたいと考えている。

室蘭地方気象台との連携は。

これまで気象台からは、普及啓発
活動を市と連携して検討したいとの意
向が示されている。平成31年度も引き
続き気象台と連携しながら、効果的に
災害に関する知識の普及に努めていき
たい。

お薬手帳の有効活用を

小栗 義朗



高齢者の多くは、
複数の診療科に通い、
その都度、薬が処方
されている。
しかし、高齢にな

ると内臓の働きや代謝、排せつ機能な
どが弱ってくるため、若い人と同じ量
だと薬の飲みすぎになってしまう場合
があり、意識障害や低血糖、肝機能障
害を引き起こすことがある。

本市では、高齢者の多重服用の実態
をどのように把握しているのか。

飛び降り自殺多発地点に 対する考えは

若木 康夫



近年、市内の橋梁
において、飛び降り
自殺が多発しており、
約2年にわたる監視
活動をかねた現地調
査を踏まえ、本市の当該地点に対する
考えと、飛び降り自殺防止に特化した
協議体の設置や、防止の具体的対策な
どを質問しました。

市からは、平成30年は過去最も多い
件数であり、当該地の飛び降り自殺に
関しては非常事態ととらえているとの

国民健康保険においては、北海道
国保連合会からレセプトをもとにした
重複者リストが提供されるため、対象
者には、電話などで服薬状況の確認や
お薬手帳の利用推奨を行っている。

お薬手帳を、薬局ごとに使い分け
ているケースもあり、投与されている
薬のすべてを把握することができない
実態もあるが対応は。

お薬手帳の有効性が知られていな
いのが現状であり、周知に努めたい。
なお、室蘭・登別管内ではスワン
ネットが動き出し、これにより、患者
の治療状況や投薬の実態が把握でき
よつになることから、加入の促進に力
を入れていきたい。

認識が示されました。また、飛び降り
自殺防止に特化した協議体の設置につ
いては、登別市自殺予防対策連絡会
の中に当該地における対策専門部会を設
け、本年2月に第1回目の会議を開催
したとの報告がありました。具体的な
対策に向けては、先進地域の視察を予
定していること。また、3月にはホテ
ル・旅館や宅配業者、バス会社、道路
管理にかかわる民間事業者などに対し、
当該地において自殺企図の疑いのある
方を見つけた場合に、積極的な声掛け
や警察への通報協力を依頼しました。
今後は、より効果的な取り組みに向け
て、専門部会で協議を重ねていく見解
が示されました。

そのほかの質問：学校教育について

平成30年度補正予算審査



ふるさと応援寄附金で
庁舎整備基金は
千田 文孝

質 ふるさと応援寄附金補正後、庁舎整備基金の積立金内容と合計の見込みは。

答 庁舎整備基金は8千409万2千円を増額し1億409万2千円に補正、合計積立額は3月末1億7千829万4千613円の見込み。

質 返礼品の人気ベスト5は。

答 ウニが全体の9割を占め、次いで登別牛・豚、温泉宿泊券・入浴券、いくら醤油漬、納豆の順である。

ふるさと応援寄附金制度が続く間は可能な限り活用し、積立額の増額に努めるよう求めました。

傍聴者の感想・意見で

市政参加を
広聴・公開委員会

第1回定例会から議場へ傍聴に来られた方に、広く感想や意見をいただく取り組みを始めました。

さまざまな角度からのご指摘やアドバイス、感想・意見などをいただきましたことにご感謝申し上げます。いただいた感想・意見は議員全員に配布し、共通認識を図るようしています。

ご意見の中には、行政の対応状況に対するものもあり、保育所に入所できなかった事例をあげ、若い人や移住者の減少につながり、さらなる人材不足が心配との意見をいただきました。

行政に対する意見などは、まとめて議長から執行部へ市民の声として伝えていきます。

令和元年5月1日から議会だより編集委員会は、「広聴・公開委員会」と名称を変え、広聴活動にも力を入れ、広報と連動させることで、より一層開かれた議会を目指していきます。感想の中に、また傍聴したいとの声もいただきました。多くの市民の皆さまの傍聴と、意見・感想をお寄せいただき、市民の市政参加のもと皆さまと、より良いまちづくりを行ってまいります。

(千田)

国会・政府に2件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。第1回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ホームページでご覧いただけます。

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

食品ロスの削減に向けてのさらなる取り組みを進める意見書

議会を傍聴しませんか

令和元年第2回定例会は、6月19日(水)から開会する予定です。本会議や委員会は、自由に傍聴することができます。第1回定例会では、延べ30名の方が傍聴されました。

紙面ではお伝えできない議会や議員の生の姿を見聞できますので、ぜひお越しください。

傍聴の際の意見・感想を受け付けます

平成31年第1回定例会から、意見箱を傍聴受付と本庁舎1階に設置しています。

意見や感想などをお寄せください。



平成31年第1回定例会における 議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
平成31年度登別市一般会計予算について	井野、小栗、木村、工藤、杉尾、千田		
平成31年度登別市国民健康保険特別会計予算について	辻、天神林、戸井、二瓶、松山、宮武、村井、米田、若木	佐々木、渡辺	可決
平成31年度登別市学校給食事業特別会計予算について			

インターネットでも議会中継を ご覧いただけます

議会に足を運ぶことができない方も、インターネットで本会議や委員会の生中継、過去の録画中継をご覧いただけます。パソコンで市議会ホームページにアクセスし、「議会中継」のリンクからご覧ください。

▶問い合わせ 議会事務局 (☎9220)